

快走！台湾一周サイクリング



作業療法学科教員の西口です。

今年の3月に休暇を取り、台湾一周サイクリングに行ってきました。

医療現場における新型コロナ対策はまだまだ厳しいものがありますが、海外へはかなり渡航しやすくなりました。現状、出入国ともに特別な検査や隔離は必要ありません。

台湾は九州とほぼ同じ大きさで一周1000kmほどあります。

何らかの手段で島を一周することを「環島（ホワンタオ）」といい、現地人の間でも一大ブームになっているとか。

旭川から台北へは、直行便にて約6時間で到着します。

南国台湾の3月ですが、朝晩はやや冷え込むものの日中は20℃前後。

実に快適に走ることができました。

台湾は自転車大国。

世界で流通しているスポーツタイプの自転車は、そのほとんどが台湾製です。

今回は現地で自転車をレンタルしました。

だいたい1日の走行距離は100kmほどで計画。

台湾の道路事情は想像よりもはるかに良く、路面がキレイな上、四輪レーンとオートバイを含む二輪レーンが明確に分かれており、交通量が多い市街地でも安全に走行することができました。

ただし、渋滞による排ガスには大いに悩まされましたが。



それにサイクリングロードがあちこちに走っています。
正直、日本よりもはるかに快適に走れます。



道路沿いには日本と全く同じ作りのコンビニがあちこちにあり、補給や休憩に困ることはありません。

もちろんローカル食堂ではより安く腹を満たすことができます。
台湾と言えば、日本人の口に合う食べ物、特にスイーツのおいしさでも有名です。



夜市の屋台料理も外せません。



ただし、困るのが言葉。

田舎に行けば行くほど英語が全く通じません。

こちら中国語はわかりません。

同じ漢字圏なので、読めばだいたいの意味はわかるのですが、会話にはなりません。

そこで登場するのがスマホの翻訳ソフト。

現地のスマホ所有率はほぼ 100%。

こちらが言葉がわからないと気付くと、さっとスマホを取り出し、訳したものをを見せてくれます。

他にもホテルの予約、ナビなどスマホに完全に頼りきりの旅でした。

以前に比べると本当に便利になりました。

一方で、スマホが壊れた時のことを考えると。。。怖いです。

そして、台湾と言えば世界有数の親日国。

こちらが日本人とわかると大歓迎してくれます。

また、かつて日本に統治されていたことから、お年寄りには日本語を流暢に話される方が多くおられます。



自転車旅の良いところは、バスや列車による点と点ではなく、線の移動になること。

つまりガイドブックに載らないような小さな町や村を通過、普通の台湾人の生活を垣間見ることができます。

まあ、ナビの精度のせいでジャングルに迷い込んだりしましたが（笑）

細かいトラブルは色々あったものの、無事に完走。

これまでの人生でもトップレベルに楽しい旅でした。

下の写真は走行データを申請することにより作ってもらえる完走証です。
一部途切れているのは崖崩れによる危険回避のため、列車に自転車を乗せての移動が推奨されている箇所となります。



今回は長めの旅でしたが、2泊3日程度でも十分に楽しめる身近な外国である台湾。実に魅力的な旅先だと思います。



さて台湾と言えば、4月3日に花蓮縣にてM7の大地震が発生しました。正にその場所をその1週間前に走っていました。報道によると被害甚大。一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。